

家庭内で起きる子どもの事故

事故の概要

【事例①】幼児がたんすから衣類を取ろうとして引出を引いたところ、たんすが倒れてけがをした。

【事例②】幼児が電気炊飯器を引きずり下ろしたところ、ふたが開いてやけどした。

【事例③】乳児が加湿機能付きセラミックヒーターの蒸気吹き出し口に手を触れてやけどした。



事故の原因

【事例①】5段ある引出のうち下から3段目までを全開にしたため、たんすのバランスが崩れて倒れたものです。

【事例②】保護者が電気炊飯器を幼児の手の届くところに置いて使用していたため、興味を示した幼児が引きずり下ろしたものです。

【事例③】保護者が目を離した隙に、乳児がつかまり立ちをして蒸気吹き出し口に手をついてしまったものです。



(写真)たんすによじ登って転倒(イメージ)



事故防止のために

◆乳幼児が転倒させたり、高温部に触ったりする可能性のあるものは、あらかじめ乳幼児の手の届かないところに遠ざけてください。

◆おもちゃや歯ブラシなどを口にくわえたままにさせないでください。

◆保護者の方は、取扱説明書で安全な使い方、やってはいけないことに見落としがないか確認してください。

